

農総第104号
令和5年7月28日

関係機関の長 殿

東北大学大学院農学研究科長
北澤 春樹

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本研究科 生物生産科学専攻 水圏生産科学講座 水圏動物生理学分野 准教授 候補者について、下記のとおり公募を行うことになりました。

つきましては、貴機関の関係者に周知方、ご高配くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 募集人員 准教授 1人
2. 分野名 水圏動物生理学分野
3. 応募資格（選考方針）
 - (1) 人格が高潔で博士の学位を有し、学生に対する教育・研究指導を適切に行える人
 - (2) 水産増養殖技術の基礎となる水圏動物生理学に関して優れた識見を有し、国際的な活躍と社会的貢献が期待できる人
 - (3) 水産無脊椎動物を主な対象とした水圏動物生理学および水産増養殖学の研究領域において優れた業績があり、生理学を基盤とした水産増養殖に関するプロジェクトを推進できる人
 - (4) 協調性があり、学内の運営に積極的に参画できる人
4. 主な研究領域
水圏動物生理学、水産増養殖学
5. 主な担当授業科目
 - (1) 大学院
水圏動物生理学特論(分担)、水圏生物生産科学合同講義(分担)
 - (2) 学部
水圏無脊椎動物学、Aquatic Invertebrate Biology（国際学士コース）、海洋生物科学コース学生実験(分担)、科学英語講読(分担)
6. 採用予定年月日 令和6年4月1日
7. 提出書類（全てA4判縦とし、横書き）
 - (1) 履歴書（写真貼付、電子メールアドレスを明記）
 - (2) 研究業績概要（1,000字程度）
 - (3) 研究業績一覧（主要論文5編以内に○印を付ける。 ）：原著論文（英文と和文に分け、査読の有無を記載し、コレスポンディングオーサーになっている論文に*印を付ける。全ての論文に最新のインパクトファクター（2-year Impact Factor）を記入のこと。）、学位論文、著書、総説、受賞、その他の項目に分類して記載
 - (4) 教育業績
 - (5) 教育・研究に関する抱負（1,000字程度）
 - (6) 各種研究費採択状況、学会等の活動歴、国際会議講演（招待講演に*印を付ける）及び その他選考方針に関連する資料等の一覧
 - (7) 応募者の照会が可能な方の氏名と連絡先2名（本人の許諾を得た上で記載ください）
 - (8) 上記（3）で○印を付けた主要論文5編以内のPDF ファイル

(9) (1) ~ (8) を一つの PDF ファイルにまとめて、メールの添付書類（パスワードを付した
もの）としてお送りください。メールの件名は「教員応募（東北大学大学院農学研究科）」とし
てください。

応募書類の提出後 5 日経過しても応募書類を受け付けた旨の返信がない場合は、お問い合わせく
ださい。

8. 選考方法

書類選考および必要に応じて面接を行う。

なお、面接を受けていただく場合の費用（旅費等）は自己負担となります。

選考結果はメールでお知らせします。

9. 公募締切 令和 5 年 9 月 29 日（金）必着

10. 応募書類の提出先及び 問い合わせ先

東北大学大学院農学研究科水圏動物生理学分野准教授 選考委員会委員長 池田 実

E-mail: minoru.ikeda.a6@tohoku.ac.jp (*は@に変えてください)

11. その他

- 東北大学は多様性、公正性、包摂性 (Diversity, Equity & Inclusion : DEI) を向上させる活動
を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <http://tumug.tohoku.ac.jp/dei/>

- 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第 8 条に基づき女性教員の在
籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認め
られる場合は、女性を優先的に採用します。

- 学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを
目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学-みんなが主役-多様な性に関する
ガイドライン」を制定しています。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センター WEB ページ

http://tumug.tohoku.ac.jp/tu_guideline_rev2-2/

- 東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員 22 名）及び青葉山みどり保育園
（定員 116 名）の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園（定員 120 名）があり、
全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。

また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

- その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画
の取組については、下記 URL をご覧ください。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センター WEB ページ

<http://www.tumug.tohoku.ac.jp/>

人事企画部 WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>

なお、水圏動物生理学分野の現在の教員構成は、次のとおりです。

教授 鶴沼 辰哉

准教授 (本公募)

助教 長澤 一衛

以上